

## 顧問作品解説

### 陽がえり 奨励賞受賞

双子の姉にモデルを頼んだ4枚の組写真。いずれも光が印象的だ。タイトルから、「一陽来復」（冬が終わり春が来ること。）という言葉が浮かんだ。今まで一緒に過ごした時間を彷彿しながら、また新しい春を迎える。ノスタルジックな雰囲気の中に温かさが感じられる作品となった。

自分の中のマンネリを打破するために、思い切って機材に頼らずフィルムカメラの「写ルンです」も使用したという。4枚のうち2枚は、フィルム写真だ。写真を撮る上で、一番大事なことは、撮るモチベーションであり、撮影そのものを楽しむ姿勢。ある程度結果が出るようになると、結果を得たいがために、いじましい姿勢に陥りがちだ。その壁を一つ越えれば、また作品が良くなる。

